

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名	恵水
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	肥料農薬部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル 33F
電話番号	03-6271-8285
FAX 番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	<a href="mailto:zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp">zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp</a>
緊急連絡先	03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限: 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい

### 2. 危険有害性の要約

<GHS 分類>

物理化学的危険性 : 全ての項目は、GHS 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

皮膚腐植性及び皮膚刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性  
: 区分 2

記載のない項目は、GHS 分類基準に該当しない

環境に対する有害性 : 全ての項目は、GHS 分類基準に該当しない

<GHS ラベル要素>

絵表示



:

注意喚起語

: 警告

危険有害性情報 : 皮膚刺激・強い眼刺激

注意書き

[安全対策] : 医師の助言が必要な場合は、製品容器又はラベルを手元に用意すること。  
子供の手の届かないように保管すること。  
使用前にラベルを読むこと。  
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面を着用すること。  
取扱い後は手をよく洗うこと。

[応急措置]

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当を受けること。  
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当を受けること。

---

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**化学名又は一般名** : 肥料取締法に準拠して製造した「液体微量要素複合肥料」

保証成分	保証成分量 (%)
水溶性 MnO	0.2 以上
水溶性 B <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.1 以上

#### 危険有害成分

化学名	PRTR 法	安衛法	毒劇法	CAS 番号	含有量 (%)
マンガン及びその化合物	非該当	通知 該当 表示 非該当	非該当	—	Mn として 約 0.2

---

### 4. 応急措置

皮膚または髪に付着した場合 : 多量の水と石鹼で十分に洗う。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当を受けること。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。擦ったり、固く眼を閉じない。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断手当を受けること。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
状況に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。異常がある場合は、医師の診断手当をうけること。

応急措置をする者の保護 : 保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面を着用すること。

---

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 霧状水、粉末消火剤、泡沫消火剤、炭酸ガス、砂
使ってはならない消火剤	: 情報なし
火災時の特定危険有害性	: 不燃性にて該当せず
特定の消化方法	: 周辺火災の場合、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消化する。危険でなければ移動可能な容器を速やかに安全な場所に移す。消化のための放水等により、製品や化学物質が河川や下水に流出しないように適切な処置を行う。
消火を行う者の保護	: 適切な全身用保護衣及び空気式呼吸器を着用する。標準の全身保護衣であっても、熱及び有害な蒸気や液体に対し限られた防御しか出来ない点に留意して消火活動を行う。

## 6. 漏出時の措置

### 人に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

: 保護眼鏡、保護手袋、呼吸用保護具、保護衣、長靴等保護具を着用してから回収作業を行う。必要に応じて換気を行う。

### 環境に対する注意事項

: 植物、微生物に吸収分解されるが、製品が多量に河川等公共水域に入ると水棲動物への影響があると考えられるため、公共水域への流出を防止する。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材

: 多量の場合は、盛り土等で囲って公共水域への流出を防止する。  
バキュームクリーナー等を使用し出来るだけ容器、ポリ袋等に回収する。  
少量の回収不能分は、多量の水で洗い流す。  
少量の場合は、乾燥土、砂、不燃材等で吸収し、できる限り回収する。  
回収不能分は多量の水で洗い流す。

### 二次災害の防止策

: 植物、微生物に吸収分解されるが、多量の場合は出来るだけ空容器、ポリ袋等に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

: 取扱いは、換気のよい場所で行う。容器破損につながるように粗暴な取扱いをしないこと。

#### 安全取扱い注意事項

: 皮膚及び眼等への付着を防止するため保護眼鏡、ゴム手袋等の保護具を着用する。

### 保管

#### 安全な保管条件

: 高温多湿を避け、雨に濡れないように屋内に保管する。(品質保時のため) 子供の手の届かないようにすること。

#### 安全な保管容器

: 必要な強度を備えたポリ袋、容器に保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

: マンガン及びその化合物(塩基性酸化マンガンを除く)

Mnとして 0.2mg/m<sup>3</sup>

### 許容濃度

#### 日本産業衛生学会勧告値

: マンガン及びマンガン化合物

(Mnとして、有機マンガ化合物を除く) 0.2mg/m<sup>3</sup>  
ACGIH : Manganese, elemental and in organic compounds, as Mn  
TWA 0.02mg/m<sup>3</sup> (R)、 0.1mg/m<sup>3</sup> (I)  
Borate compounds, inorganic  
TWA 2mg/m<sup>3</sup> (I)、 STEL 6mg/m<sup>3</sup> (I)

**設備対策** : 必要に応じ局所排気設備等により作業環境を改善する。取扱い場所の近くに  
手洗い、洗顔設備等を設置することが望ましい。

### 保護具

呼吸用保護具 : 必要に応じて保護マスク着用  
保護眼鏡 : 保護メガネ (ゴーグル型) 着用  
保護手袋 : 耐酸性手袋着用  
皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着着用

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状 : 液体  
色 : 土色  
臭い : 特異な臭い  
pH : 2.5~3.0  
融点・凝固点 : データなし  
沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし  
引火点 : なし  
爆発限界 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
比重 (相対密度) : データなし  
溶解度 : 水に任意の割合で希釈可  
n<sup>-</sup>オクタノール/水分配係数 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
分解温度 : データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱い条件では安定  
危険有害反応可能性 : 通常の取扱い条件では危険な反応は知られていない。  
避けるべき条件 : 高温多湿  
混触危険物質 : 強塩基  
危険有害な分解生成物 : データなし

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

(経口)	: 分類できない データなし
(経皮)	: 分類できない データなし
(吸入:蒸気)	: 分類できない データなし
(吸入:粉塵、ミスト)	: 分類できない データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分2 データはないが、皮膚に接触すると皮膚刺激があるものと考えられる。

### 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

: 区分2  
データはないが眼に入ると眼刺激があるものと考えられる。

呼吸器感作性	: 分類できない データなし
皮膚感作性	: 分類できない データなし
生殖細胞変異原性	: 分類できない データなし
発がん性	: 分類できない データなし
生殖毒性	: 分類できない データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 分類できない データなし
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 分類できない データなし
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない データなし

---

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)	: 分類できない データなし
水生環境有害性 (長期間)	: 分類できない データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない
生態毒性	: 植物、微生物により吸収分解されるため、少量の場合、有害性は少ないものと考えられる。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されていない。

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 内容物や容器の廃棄の際は、関連法令及び自治体の基準に従うこと。 廃棄物の処理を委託する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。容器は清浄して、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

---

## 14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送は ICAO/IATA 及び海上輸送は IMO の規制に従う。
国連分類	: 国連が定義する危険物に該当しない。
国連番号	: 国連が定義する危険物に該当しない。
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 取扱い及び保管上の注意による他、堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れて輸送する。 運搬に際しては、容器から漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損等にも注意し荷崩れ防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

肥料取締法	: 登録
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	
第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)	: 該当せず
第 2 種指定化学物質(法第 2 条第 3 項、施行令第 2 条別表第 2)	: 該当せず
労働安全衛生法	
表示対象物質(法第 57 条 1、施行令第 18 条)	: 該当せず
通知対象物質(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)	: 550 マンガン及びその無機化合物
毒物及び劇物取締法(毒物及び劇物)	
毒物(法第 2 条別表 1)	: 該当せず
劇物(法第 2 条第 2 項別表 2)	: 該当せず
火薬類取締法	: 該当せず
高压ガス保安法	: 該当せず
消防法(法第 2 条第 2 項危険物別表第 1)	: 該当せず
化審法	
特定化学物質(法第 2 条第 2 項及び第 3 項)	: 該当せず
監視化学物質(法第 2 条第 4 項)	: 該当せず
優先評価化学物質(法第 2 条第 5 項)	: 該当せず
船舶安全法(危規則第 3 条、危険物告示別表 1)	: 該当せず

航空法(施行規則第 194 条、危険物告示別表 1)

: 該当せず

海洋汚染防止法

有害液体物質(施行令別表第 1) : 該当せず

---

## 16. その他の情報

本 SDS の作成に当たっては、「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) [ JIS Z 7253 : 2012 ] 」及び「GHS に基づく化学物質等の分類方法 [ JIS Z 7252 : 2014 ] 」に基づいて作成しました。

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料・情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

本 SDS は、下記株式会社エフアンドエイの情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名 : 株式会社エフアンドエイ

住所 : 福島県福島市太平寺字過吹 21 番地 3

電話番号 : 024-546-2078

FAX番号 : 024-546-2079